令和5年度

病害虫発生予察情報 第 20 号

9月月報

北海道病害虫防除所 令和5年(2023年)10月13日

http://www.agri.hro.or.jp/boujosho/ Tel:0123(89)2080 • Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区気象台発表 北海道地方気象速報

一南から暖かい空気が流れ込みやすく、太平洋側は4か月連続で歴代1位の記録的な高温ー

9月は、低気圧の前面で南からの暖かい空気が流れ込みやすく、また、高気圧の影響で暖かい空気に覆われる日も多かった。このため、北海道地方の気温はかなり高く、月平均気温の平年差は 1946 年の統計開始以降、オホーツク海側と太平洋側では高い方から第1位、北海道地方と日本海側では第2位の高温となった。降水量は、南からの暖かく湿った空気の流入と低気圧や前線の影響により、多かった。

上旬:太平洋側を中心に低気圧や前線の影響を受けた日が多かった。このため、降水量は太平洋側及び北海道地方で多かった。日照時間は、低気圧の影響を受けにくかった日本海側で多かった。暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温はかなり高かった。太平洋側及び北海道地方では、旬平均気温の平年差が1946年の統計開始以降、9月上旬として高い方から第1位の記録(北海道地方はタイ記録)となった。

中旬:低気圧と前線の影響を受けた日が多かったため、曇りや雨の日が多かった。このため、降水量は日本海側でかなり多く、オホーツク海側及び北海道地方で多かった。また、日照時間は、日本海側と太平洋側及び北海道地方で少なかった。低気圧や前線に向かって南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は北海道地方でかなり高かった。

下旬:太平洋側は低気圧の影響を受けた日もあったが、日本海側とオホーツク海側は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため、降水量は日本海側、オホーツク海側及び北海道地方で少なく、日照時間はオホーツク海側でかなり多かった。高気圧に覆われて晴れた日が多く、低気圧の前面で南から暖かい空気が流れ込んだ日もあったため、気温は北海道地方でかなり高かった。

気候表(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間は比(%)を示す)

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+2.9	か高	122	多	97	並
日本海側10 地点平均	+2.8	か高	129	多	98	並
オホーツク海側4 地点平均	+2.7	か高	99	多	104	並
太平洋側8 地点平均	+3.2	か高	125	多	91	少

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。 各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。 なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

Ⅱ. 病害虫発生概況

注)本資料における表中の0の表記について

Oのみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0 あるいは 0.00 などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稲

1. いもち病(節いもち) 発生量 多

<7月13日付け注意報第3号>

予察田の「きらら397」における節いもちの発生量は、岩見沢市及び比布町で平年より多かった。

予察田における水稲の節いもち発生状況

			発病茎率(%)						
地点	品種名	9月2	半旬	9月4	平年数				
		本年	平年	本年	平年				
482+	きらら397	69.2	12.7	_	_	10			
岩見沢市	ななつぼし	73.2	24.2	-	-	10			
ᄔᆇᄪ	きらら397	63.7	8.7	_	18.3	10			
比布町	ななつぼし	79.3	7.7	-	15.5	7			
北斗市	きらら397	-	12.3		27.9	10			

注1)各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注2) - :成熟期を迎えたため調査終了

2. 紋枯病 発生量 多

予察田における発生量は、北斗市で平年より多かった。

予察田における水稲の紋枯病発生状況

地点			発病茎率(%)					
	品種名	9月2	半旬	9月4	平年数			
		本年	平年	本年	平年			
岩見沢市	きらら397	-	19.0	_	22.1	10		
北斗市	きらら397	35.2	26.4	36.0	16.7	10		

注1)各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注2) - : 節いもちが第3節から多発し、茎の大半が枯死したため、調査不能

3. ニカメイガ 発生量 やや少

長沼町の予察田における被害茎率は、平年よりやや低かった。

予察田におけるニカメイガによる被害茎率(%)

長河	亚在粉	
本年	平年数	
3.6	6.3	10

4. アカヒゲホソミドリカスミカメ 発生量 やや多 <8月9日付け注意報第5号>

予察灯による成虫誘殺数は、長沼町及び北斗市で平年より多く、比布町で平年より少なかった。

予察田における成虫のすくい取り虫数は、長沼町で平年よりやや多く、北斗市では平年より少なかった。 比布町では捕獲されなかった。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯による誘殺数および予察田における水田すくい取り虫数

	アカビナホノミドカカスミカア成玉のア奈州による訪ね。							* III (CO) ()	O/NIII 7	ハいれスプコ	4 3 X		
- 平石		予察灯誘殺数						水田すくい取り虫数 (20回振り×5日分換算値)					
月·半旬	長河	長沼町		市町	北当	北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
9月1半旬	40	30.8	8	12.2	203	32.1	5.0	4.0	0	3.3	0	3.3	
2半旬	44	42.7	10	34.9	93	26.4	5.0	0.9	0	1.9	2.5	3.8	
3半旬	47	14.8	18	8.9	57	2.0	0	0.1	0	2.8	0	3.8	
4半旬	95	3.6	4	26.7	14	3.4	0	8.0	0	3.3	_	1.4	
5半旬	0	1.5	1	1.2	0	0.2	-	0.2	0	1.5	-	0.6	
6半旬	0	2.7	0	0	1	0.2	_	0.2	0	0	_	0	
平年数	1	0	1	0	10		10		10		10		

注)ー: 長沼町は収穫期を迎えたため調査終了、北斗市は倒伏により調査不能

B. 豆類

1. べと病(大豆) 発生量 多

長沼町の予察ほにおける発生量は、平年より多かった。

予察ほにおける大豆のべと病発生状況

ſ	地点	品種名		発病度					
			9月2	半旬	9月4	平年数			
			本年	平年	本年	平年			
-	長沼町	トヨムスメ	32.0	21.2	-	17.6	10		

注)一:調査不能

C. てんさい

1. 褐斑病 発生量 多

<7月21日付け注意報第4号>

予察ほにおける発生量は、長沼町、芽室町及び訓子府町とも平年より多かった。

予察ほにおけるてんさいの褐斑病発生状況

	D 42 2			発症						
地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	9月2半旬		9月4	半旬	9月6	平年数			
	(1句外1)41)2(1)(1工/	本年	平年	本年	平年	本年	平年			
長沼町	あまいぶき("弱")	95.2	73.8	100	85.5	100	91.9	10		
	ライエン ("やや強")	89.2	56.4	99.4	69.2	100	79.8	8		
芽室町	あまいぶき("弱")	96.0	70.8	97.6	79.5	98.8	88.9	9		
	ライエン ("やや強")	98.4	51.4	98.4	60.0	100	73.7	8		
	スタウト("強")	92.4	52.9	94.0	62.8	97.2	75.8	9		
訓子府町	ライエン ("やや強")	98.4	52.8	100	62.8	100	74.3	10		

2. ヨトウガ (第2回) 発生量 並

予察ほにおけるヨトウガ第2回幼虫による食害程度は、長沼町で平年より高く、芽室町及び訓子府町で平年より低かった。

一般ほにおける9月3半旬の巡回調査によると、全78地点のうち、被害株率50%以上となった地点は石狩、胆振、上川、オホーツク、十勝地方の計14地点であった。

予察ほにおけるヨトウガの食害程度

1 水(の(を)が のは 1 7 2 の 氏 日 住人									
	食害程度								
月·半旬	長汗	召町	芽室	室町	訓子府町				
	本年	平年	本年	平年	本年	平年			
9月1半旬	99	60.6	38	46.3	29	41.0			
2半旬	100	67.0	42.5	50.1	30	47.0			
3半旬	100	72.9	39	53.2	30	54.5			
4半旬	100	75.6	36	57.8	30	60.2			
5半旬	100	77.4	36.5	61.0	28	65.3			
6半旬	100 80.1		32.5	62.6	28	68.0			
平年数	1	0	1	0	10				

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

	<u> </u>									
	普及	地点	9月3半旬							
72	ンター	数	本年	前年						
空知	南東部	1	18.0	2.0						
石狩	本所	3	60.0	20.0						
後志	本所	3	15.3	15.3						
胆振	本所	4	4.0	7.0						
	東胆振	3	45.0	10.7						
上川	富良野	3	18.3	10.0						
	大雪	3	12.0	1.3						
	士別	1	10.0	11.0						
	名寄	2	26.0	6.0						

	及	地点	9月3半旬			
セン	ター	数	本年	前年		
網走	本所	9	6.0	11.9		
	清里	6	39.0	12.3		
	網走	2	24.0	9.0		
	美幌	5	10.4	10.6		
	遠軽	3	46.0	14.0		
十勝	本所	7	8.3	3.4		
	東部	6	19.3	4.0		
	東北部	4	61.8	23.0		
	北部	3	20.0	1.3		
	西部	3	1.7	4.0		
	南部	7	42.1	22.8		

D. あぶらな科野菜

1. モンシロチョウ 発生量 並

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、北斗市で平年より多く、長沼町では平年よりやや少なかった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

3 234 10.42 1	X10.00 1 1 17 120717 0 27 7 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17								
月·半旬	長浴	召町	北斗市						
万十中	本年	平年	本年	平年					
9月1半旬	0	10.2	61	10.9					
2半旬	4	6.5	32	11.3					
3半旬	8	10.4	31	14.0					
4半旬	5	16.9	32	13.8					
5半旬	11	18.3	23	13.7					
6半旬	23	20.8	12	12.8					
平年数	1	0	10						

注) 10株あたりの寄生虫数。

2. コナガ 発生量 並

<5月15日付け注意報第1号>

フェロモントラップによる成虫誘殺数は、比布町、芽室町及び訓子府町で平年並、長沼町及び北斗市では 平年より少なかった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町で平年よりやや多く、北斗市では平年より少なかった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

				<u> </u>	カのノエロて	ニントラツノル	∟よる砂球技術	汉			
月・半旬		長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	יי [本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半	旬	2.0	18.3	2.0	3.0	0	5.6	0	1.0	2.5	1.0
2半		3.8	22.7	2.0	1.0	3	5.1	0	0.1	1.3	0.4
3半	旬	4.9	13.0	6.0	0.9	1	6.6	1	0.1	0.3	0.6
4半	旬	2.0	9.3	3.0	1.8	0	6.1	0	0.2	0	0.2
5半	旬	10.0	10.0	1.0	2.1	3	4.2	0	0.5	0	0.2
6半	旬	10.0	9.4	1.3	4.1	5	3.3	1	0.2	0	0
平年数	7	10		8	3	1	0	1	0	1	0

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺。比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺。訓子府町は雑草

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

1 3010117 (1 1 1 1 2 0) 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3										
口、半石	長河	召町	北斗市							
月・半旬	本年	平年	本年	平年						
9月1半旬	1	7.4	3	9.9						
2半旬	8	7.2	1	3.6						
3半旬	17	9.6	0	2.4						
4半旬	8	7.2	0	7.4						
5半旬	18	11.7	1	5.7						
6半旬	23	10.7	0	5.6						
平年数	1	0	1	0						

注) 10株あたりの寄生虫数。

E. りんご

1. 黒星病 発生量 並

予察園における発生量は、長沼町 (無防除)では平年並であった。余市町 (慣行防除)では発生が認められなかった。巡回調査の報告によると、一般園では胆振及び渡島地方で発生が認められている。

予察園におけるりんごの黒星病発生状況(9月6半旬)

	+44 上	口铥力	病葉	率(%)	発症	平年数						
	地点	品種名	本年	平年	本年	平年						
	長沼町	相伝ふじ	100	88.4	49.0	68.3	6					
	余市町(慣行防除)	昂林	0	-	-	-	-					

注1)長沼町は9月6半旬、余市町は9月第5週のデータ

注2) 一:調査対象外または平年値なし

一般園におけるりんごの黒星病巡回調査結果(9月3半旬)

普及センター		ᅷ	病葉率(%)							
一百以ビノダ	_	地点数	本年	前年						
後志	北後志	2	0	0						
胆振	本所	1	1.0	1.0						
渡島	本所	1	1.9	0.7						
留萌	南留萌	1	0	0						

2. 斑点落葉病

発生量 並

予察園における発生量は、長沼町(無防除)では平年並であった。余市町(慣行防除)では発生が認められなかった。巡回調査の報告によると、一般園では胆振、渡島及び留萌地方で発生が認められ、感受性品種で発生が多く認められている。

予察園におけるりんごの斑点落葉病発生状況(9月6半旬)

+₩ -⊏	口括夕	病葉	率(%)	平均病斑	平年数	
地点	品種名	本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林(新梢)	5.8	5.6	0.1	0.1	10
	王林(徒長枝)	3.5	4.2	0.0	0.1	10
余市町(慣行防除)	昂林(徒長枝)	0	-	-	_	

注1)長沼町は9月6半旬、余市町は9月5週目のデータ

注2) 一:調査対象外または平年値なし

一般園におけるりんごの斑点落葉病巡回調査結果(9月3半旬)

が区内に	יים טוולים נוונו	" 如 示 冶 未 的	巡回侧且响不	(3/J3/T H)/		
並ひわい力		地点数	病葉率(%)			
普及センター	-	地点致	本年	前年		
後志	北後志	2	0	0		
胆振	本所	1	1.0	2.0		
渡島	本所	1	56.6	19.5		
留萌	南留萌	1	2.0	16.5		

3. モモシンクイガ 発生量 並

予察園におけるフェロモントラップによる誘殺数は、余市町B(慣行防除)で平年より多く、長沼町(無防除)でやや多く、余市町A(慣行防除)で平年並だった。

一般園におけるフェロモントラップによる誘殺数は、岩見沢市及び旭川市で平年よりやや多く、壮瞥町で 平年並、札幌市及び七飯町では平年よりやや少なかった。

予察園におけるモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

宗国にのパッととランティカのテエロとテーファアにある的技数											
	フェロモントラップ誘殺数										
月·半旬	長	召町	余市	町A	余市町B						
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
9月1半旬	51	38.3	10.8	13.5	52.5	22.7					
2半旬	28	33.2	7.1	6.6	20	13.6					
3半旬	22	7.1	3.2	3.0	17.4	5.8					
4半旬	2	0.5	0.6	1.6	15.6	3.1					
5半旬	0	0.3	0	1.3	0	0.4					
6半旬	0	0	0	0.7	0	0.1					
平年数	1	0	10	0	10						

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺数

7X EL 1-0577 G E E 2 2 7 175 177 E E 2 7 7 7 7 1-0-0 1851 1X 3X												
月・半旬	岩見沢市		札幌市		壮惟		七食	反町	旭川市			
月十旬	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
9月1半旬	7.9	2.5	7.9	9.0	2.9	10.2	15.0	16.6	14.7	9.1		
2半旬	7.9	1.8	0.7	4.1	3.6	6.5	6.5	8.4	8.5	4.2		
3半旬	1.3	0.7	0.3	0.3	2.1	1.5	0.5	3.5	2.0	0.9		
4半旬	0.8	0.5	0	0	0.7	0.6	0	1.7	0	0.2		
5半旬	0	0.2	0	0	5.3	0.2	0	1.1	0	0.1		
6半旬	0	0	0	0	3.9	0.1	_	0.4	_	0		
平年数	10	0	10		10		10		10			

注)-は欠測

4. ハダニ類 発生量 少

予察園におけるリンゴハダニは、長沼町(無防除)、余市町A及びB(慣行防除)いずれの地点においても発生が認められなかった。ナミハダニは、余市町Bで平年より少なく、長沼町及び余市町Aでは発生が認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

	ア宗国にのカッパー規模立めた工作が													
			リンゴ	ハダニ	•		ナミハダニ							
月·半旬	長河	召町	余市	余市町A		TA 余市町B		長沼町		町A	余市町B			
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
9月1半旬	0	5.2	0	0.5	0	0	0	3.1	0	1.0	0	0.3		
2半旬	0	0.2	-	0	-	0.1	0	0.4	_	8.0	_	13.4		
3半旬	0	1.5	0	0	0	0	0	0.3	0	0.3	0.7	2.9		
4半旬	0	0	0	0	0	0.3	0	0.1	0	0.1	0.7	1.6		
5半旬	0	0.1	_	0.2	_	0	0	0.4	_	1.4	_	0.4		
6半旬	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0	0.1	0	0.1		
平年数	10	0	10	0	10		10		10		10			

注) 30葉あたりの寄生数。

5. キンモンホソガ 発生量 やや少

予察園におけるフェロモントラップによる成虫誘殺数は、長沼町(無防除)で平年よりやや多く、余市町 A及びB(慣行防除)では平年より少なかった。長沼町の予察園における被害葉率は平年並であった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、増毛町で平年より多く、石狩市、壮瞥町及び七飯町では平年より少なかった。岩見沢市、札幌市及び旭川市では誘殺が認められなかった。

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

予察園におけるキンモンホソガの被害葉率およびフェロモントラップによる誘殺数

				被害葉率(%)					
月·半旬	長浴	長沼町		シップ誘殺 ma	余市	町B	長沼町		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
9月1半旬	67.0	48.3	8.3	86.1	26.7	74.8	21.6	12.7	
2半旬	105.0	60.7	28.6	107.1	25.7	84.2	24.3	15.7	
3半旬	64.0	41.3	23.4	100.8	17.4	84.7	23.6	20.9	
4半旬	30.0	10.6	20.0	64.4	11.9	61.6	28.0	22.1	
5半旬	7.8	4.1	0	38.4	0	36.6	27.6	30.5	
6半旬	2.3	1.1	0	14.9	0	18.0	34.6	34.2	
平年数	10	0	10		10)	10		

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月·半旬	岩見	沢市	札	晃市 石狩市		壮瞥町		七郎	返町	旭川市		増毛町		
月-十旬	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	0	3.0	0	3.8	0.9	41.1	0	56	0	1.6	0	8.0	430.6	256
2半旬	0	3.6	0	2.0	1.0	107.3	1	99	1	2.5	0	1.8	928.6	312
3半旬	0	4.7	0	1.8	1.2	74.9	0	86	1	3.8	0	0.6	687.5	299
4半旬	0	1.7	0	0.6	1.6	88.8	0	62	0	3.6	0	0.2	548.2	258
5半旬	0	0.5	0	0.3	0	38.2	0	27	0	2.5	0	0.1	339.3	134
6半旬	0	0	0	0.2	_	13.9	0	9	-	1.1	-	0	154.2	59
平年数	10	0	10	0	ę	9	10	0	1	0	10	0	10	0

注)-は欠測

農薬の適切な保管管理と空容器等の適正な処分に努めましょう!!

■ 農薬の保管管理等に当たって

農作業も終盤となり農薬を使用する機会も少なくなってきますが、使い残した農薬は 適切に保管管理するとともに、空容器等は適正に処分するようにしてください。

- 1 農薬は乾燥した冷暗所に保管箱又は保管庫を設置し、施錠して保管してください。
- 2 農薬の誤用を防止するため、種類別に分類整理して保管してください。特に除草剤は、 誤って使用すると薬害等の被害を招く恐れがあるので、他の農薬と明確に区分して ください。
- 3 毒物又は劇物に該当する農薬は、毒物及び劇物取締法により容器や包装、保管場所への 表示等が定められていますので、これを遵守してください。

また、消防法に基づく危険物に該当する農薬は、貯蔵及び取扱いの基準が定められているので、これを守ってください。

- 4 誤飲等を防ぐため、農薬は他の容器への移し替えや小分け、特に食品容器への移し替えは 行わないようにしてください。
- 5 使用済みの農薬の空容器は、他の用途には絶対に使わないでください。 また、農薬の空容器及び残農薬の処分に当たっては、関係法令に基づき適正な処分に 努めてください。

なお、農薬の空容器の処分に当たっては、容器内に農薬が残らないよう十分に除去して ください。

農薬に関してのお問い合わせは

道庁農政部生産振興局技術普及課 (TEL:011-231-4111(内線)27-838)

北海道病害虫防除所(TEL0123-89-2080)

または最寄りの(総合)振興局農務課にご照会ください。

登録情報や農薬取締法等については

農林水産省ホームページの「農薬コーナー」(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/)をご覧ください。